

# がん患者さんの在宅療養についてのご紹介

住み慣れたご自宅で、自分らしくできるだけ普段どおりの生活を送りながら、治療（緩和ケア・痛みのコントロールなど）を受け、終末期を含めてご自宅で長く過ごすことを選ぶ患者さんご家族も増えてきています。

在宅療養を選択する場合、医師（訪問診療）や看護師（訪問看護）などの専門職がご自宅に訪問する在宅支援を受けることができます。

また、多くの医療機関には、患者さんが治療や療養を安心して継続できるよう、療養生活に関わる幅広い相談に応じる医療ソーシャルワーカーが在籍しています。

在宅療養のためには、事前に準備が必要です。

ご希望される場合は、主治医や看護師に尋ねるか、がん相談支援センターにご相談ください。

## 患者さんご家族の生活をサポートする専門職たち

### ●訪問診療

患者さんの状態や病状を診察します。また、緊急時の対応や必要に応じて入院先を紹介するなど、医療機関と連携して対応を行います。



### ●訪問看護

必要な医療処置や健康状態の観察を医師と連携をとりながら行います。



### ●薬剤師

痛みなどの症状をやわらげるための薬についての助言を行います。



### ●医療ソーシャルワーカー

患者さんが治療や療養を安定して継続できるよう、療養生活に関わる幅広い相談に応じます。



患者さん・ご家族の意向を中心として、さまざまな専門職の支援を受けることができます。

### ●訪問リハビリ

心身の機能回復のためのリハビリを行い、環境整備の手助け、助言を行います。



### ●管理栄養士

食事の献立や味付けの工夫などの助言を通じて、食生活に関わる問題に対応します。



### ●ケアマネジャー

患者さんの身体の状態に応じて最適な介護サービスが受けられるように介護事業所などと調整を行います。



### ●訪問介護

食事の介助や入浴の介助、おむつ交換などを行います。



## がん患者さんに知ってほしい

# 遺伝カウンセリングを知っていますか？



認定遺伝カウンセラー  
春山 瑛依子

近年、遺伝医学や遺伝子解析技術の進歩により、がんの領域でも遺伝情報を診断や治療に活かす医療が始まっています。「遺伝性のがん」と診断されたけれどそれってどんなものなんだろうか」「医師に勧められたけれど遺伝子の検査を受けた方がよいのだろうか」「家族にがんの人が多いけれど自分もなるのだろうか」といった疑問や気持ちに対して、患者さんやご家族のサポートをする場が遺伝カウンセリングです。

遺伝カウンセリングでは、相談に来られた方のお話を伺って状況を整理し、必要な医学的情報や利用できる社会資源などをお伝えしたうえで、ご本人の価値観や人生設計に合わせた検査や治療の選択など、将来について一緒に考えていきます。遺伝カウンセリングは、専門の医師と認定遺伝カウンセラーが対応します。京都市立病院には遺伝カウンセリングの窓口がありますので、希望される方は主治医の先生を通してご相談ください。離れてお住まいのご家族であれば、全国遺伝子診療部門連絡会議のHP (<http://www.idenshiiryoubumon.org/search/>) からお近くの施設を検索いただくことも可能です。



org/search/) からお近くの施設を検索いただくことも可能です。

遺伝情報は親から子へと伝わっていくため、家族で一部ずつ共有しています。また、遺伝情報にはひとりひとり必ず違いがあり、その違いによって個性・多様性が生まれています。「遺伝」は決して特別なものではなくすべての人に関係している身近なものであり、誰もが遺伝に関する疑問や不安をもつ可能性があります。どんなことでもお気軽にご相談ください。十分な情報や選択肢を知ったうえでよりよい選択ができるよう、遺伝カウンセリングを活用していただければと思います。

# みぶなの会

自分らしくがんと向き合うために



- 2 投稿 みぶな広場
- 3 がん相談支援センターのご案内
- 4 がん相談支援センターの取り組み
- 5 がん患者さんの在宅療養についてのご紹介
- 6 がん患者さんに知ってほしい 遺伝カウンセリングを知っていますか？  
認定遺伝カウンセラー 春山 瑛依子

## 「ひとことカード」募集の取り組み

新型コロナウイルス感染症の流行から2年以上が経ちましたが、流行は収まる気配がありません。感染症への不安から、治療や生活に悩みを抱えておられるがん患者さんやご家族へ、いま“感じること”“思うこと”を「ひとことカード」に記入していただきました。

(設置・募集期間 2022年7月1日～8月31日)



ご協力ありがとうございました。

祖父ががんを患い、健康をずっと保つことの難しさを痛感します。今後の医学の発展でがんが克服されることを願います。

前立腺ガンで大変お世話になりました。元気で頑張っております。有難うございます。

兄が肺癌で会うたびに変化していくのを見て、本人・家族の大変さ、先生方に感謝の念一杯です。

「きれいに取ってもらった(ありがとう)から大丈夫」ではなかった。気づかないうちに身体はストレスをうけていた。

癌の余命宣告はあくまで目安。癌を患った家族は、それ以上に長生きしています。病気を通して命とは何かを考えるようになりました。家族には、生ある間、素晴らしい経験を、楽しい記憶を重ね、日々過ごしてもらいたいと願っています。

## がん相談支援センターのご案内

当院では、がんを経験された方、治療中のご家族を持つ方が、治療を受けながら考えていること、生活の中で抱えている気持ちや不安など、安心してご相談いただける窓口として「がん相談支援センター」を設置しています。

がん専門相談員(看護師、社会福祉士)がお話を聞かせていただき、気持ちの整理をお手伝いさせていただきます、解決の糸口を一緒に考えていきます。

なお、相談内容は本人の許可なく第三者に伝えることはありません。匿名での相談も受けており、秘密厳守で相談に応じますので、安心してご利用ください。



例えば、このような時にご相談ください。



### ●ご相談方法

対象	ご本人、ご家族 当院かかりつけでない方もご利用いただけます
受付	本館1F がん相談支援センター
相談時間	月曜日～金曜日 電話での場合 9:00～16:00 対面での場合 9:00～16:00 (利用状況によって、日を改めて予約が必要な場合がございます)
相談料	無料でご利用いただけます

▶電話でご連絡いただく場合 TEL 075-311-5311 (代表)



## がん相談支援センターの取り組み

### 治療と仕事の両立支援の無料相談会

#### ▶ハローワーク出張相談会

がんで治療中の患者さんを対象とした就労相談会を開催しています。

相談例	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事をやめて再就職を希望している</li> <li>これから転職を考えたい</li> <li>復職したけど体力的な問題などから転職を考えている</li> <li>退職する前に、利用できる制度を知っておきたい</li> </ul>
日時・時間	第2木曜日 11:00～12:00 ※3日前までの予約制(事前に簡単な聞き取りを行います)
受付	本館1F がん相談支援センター
担当者	専門相談員(就職支援ナビゲーター)



#### ▶京都産業保健総合支援センター出張相談会

がんで治療中の患者さんを対象として、治療を続けながら安心して働き続けることができる職場環境づくりを支援しています。

相談例	<ul style="list-style-type: none"> <li>職場復帰や治療と仕事の両立支援について相談したい</li> </ul>
日時・時間	随時 ※予約制
受付	本館1F がん相談支援センター
担当者	両立支援促進員

